



●加齢性難聴者への補聴器購入費一部を助成：補助率1/2、上限3万円

●大学生等奨学金事業（県独自の奨学金）：1億4500万円（奨学金の返還免除額の増額や貸付定員の拡大、県内企業との連携による返還免除制度の導入）

県民の願い反映 2月県議会始まる 来年度予算審議

民主香川 定価 月100円 発行所 民主香川社 高松市藤塚町3丁目13-14 (087)834-7311

【3面から】 裁判を求めると反論しました。しかし被告側は当初から「裁判そのものを否定」する姿勢を示しており、これをうけてきた裁判官は、「2月末には結審させる」と判断を決めています。

寶田裁判 たたかい12年

寶田（たからだ）都子さんは、医療法人福生会及び理事長に対し、「長時間労働」やパワハラ、厳しいノルマ等が、「うつ病」・重度難聴を発症させた「安全配慮義務違反」と認め、謝罪と共に再発防止策の策定そして損害賠償を求めています。「命を守るべき医療・介護の現場で、働く者の命や健康を脅かし、人間の尊厳を踏みこむ事態が続く福生会の体質に対し、自身も犠牲者を出し続ける」と考へて、提訴に至り、12年にわたりました。寶田さんは、『「安全・安心」な医療・介護・福祉を守るため、働く者の命や健康・尊厳が脅かされない「より良い」労働環境を求めたい』とパワハラやブラック労働による障がいを抱えながら、自分自身にとどまらず、いまでも働く仲間や、さらに広い医療・看護・福祉の現場の未来や社会のために、民事裁判を継続しています。

随筆

猫のしっぽ



の温もりがある。子供の頃に聞いた母の声がよみがえる。「湯たんぼで布団温めたるけん、早よ寝ろでー」「もっ起きなさい。湯たんぼの湯、洗面器に出したるきん、冷えんまに顔洗いな」。

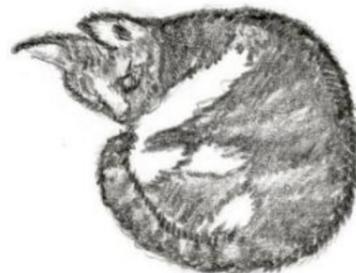
ブリキの湯たんぼ

冬は湯たんぼ。使い始めて十年以上、これ無くしては布団に入れない。軽くて暖かいらしい高級布団は無縁、毎晩、綿の重ね布団と毛布をブリキ製の湯たんぼで温める。古い奴だと笑うなかれ。確かにスイッチ一つで暖房開始とはゆかず手間がかかる。その手間こそが冬なのだ。手間をかけて闘ってこそ、寒い季節を乗り越えられる。



容量二・六リットの湯たんぼに。冬期は約百日間なので二六〇回の再利用だ。風呂一回分である。寝床は二階、風呂場は一階、昇り降り足で鍛える。作業が身体を使う。湯たんぼは運動不足を解消させる。

湯たんぼの湯が無い朝は井戸水だった。冷たいのでちよいちよいと洗ったふりでごまかす。大寒の頃には顔が黒ずみ、手の甲は真っ黒なアカギシ。それが裂けて血がにじんだ。隣がよろず屋だった。店主の太ったおじさんが「その手、洗ってやるけん、うちの風呂へ来い」と呼んでくれた。抱かれて湯船に沈むと、澄んだ湯がざーっと溢れた。



まずは二階の寝床を整える。冷えた湯たんぼを提げて風呂場に行き、風呂を洗って湯たんぼの水を浴槽に落とす。温水ボイラーの蛇口から七〇度の湯を湯たんぼに満たし、しっかりと栓をして布製カバーに包み寝床の真ん中へ置く。数時

議会で議論し、県民のための予算編成にしていきたい」と語りました。

応が大きく前進した。これからも頑張る」「月額5200円の助成は前進だが、完全無償化にむけた要望は続けていく」などの声があがっています。

◎日本共産党綾川町議 三好 和幸



綾川町では、今年4月任期満了に伴う町長、町議会議員の改選の年にあたり4月14日告示19日投票で町議選挙が行われます。私は2

主党1、公明党1、無所属13。私の住む地域からも現在3人の議員がいますが、新たに3人の新人が立候補する予定です。今回は参政党も出馬が予定されており新人9名を含めた激戦が予想されています。

わが町は今

前半前に補欠選挙で党の議席を引き継ぎました。町議会議員選挙では、今回から定数16名から14名に2名削減が決まり、先日

近年、県の主導で長柄町のかさ上げ工事、千足地区での工業団地創設など大型工事が始まり、今年は廃校になった旧綾上中学校を活用した中四国初となるA

野台太鼓

りしました。元々は投票に行くときに自分の子どもにかけた言葉だそうです。極右の高市総理は軍拡や海外に自衛隊が派遣できるための憲法改正（改悪）、核保有（側近発言を否定しない）などの持論をもっていきます。また、選挙中、自民党の候補者が「国民の皆さんに場合によっては血を流していただかないといけないこともあるかもしれない」と発言するなど、自民党の本性が見えてくる中で多くの人が危機感を抱き、「#〇〇戦争止めろわ」で投票活動を促しました。▼その言葉の後に、「共産党に初めて投票したわ」など共産党への投票を明言する人も相次ぎ、選挙で議席を大幅に減らしても、まだ希望の北極星は輝いています。(C)